

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		地域コミュニティの減災文化に関する基礎的研究			
研究テーマ (欧文) AZ		Basic Research on Community Based Culture for Disaster Reduction			
研究氏 代表 者	カナ CC	姓)タナカ	名)ジュンイチ	研究期間 B	2014 ~ 2016年
	漢字 CB	田中	純一	報告年度 YR	2016年
	ローマ字 CZ	Tanaka	Junichi	研究機関名	北陸学院大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		北陸学院大学人間総合学部社会学科・准教授			
<p>概要 EA (600字~800字程度にまとめてください。)</p> <p>本研究では地域コミュニティレベルから、災害の直接的被災体験を基とする防災・減災対応及び間接的被災体験を基とする防災・減災対応について分析検討を行った。災害対応とは、いつ襲来するかわからない非常時のために常に緊張感を持ち続け、災害用の特別な対策を取り続けるという切り離されたものではなく、平時のコミュニティを持続可能なものにするための具体的な実践と大きく結びついている。過疎・高齢社会が一層進展する現状を踏まえつつ、平時のコミュニティづくりの実践が非常時へと接続する回路を構築することが今日的課題である。その点で大分県米水津「むらの覚悟委員会」の取り組みは、ストックになりがちな防災の取り組みに遊び感覚をいれることにより、楽しみながら防災のためのストックを拡大している点で注目すべきものがある。高知県黒潮町「防災となり組」や石川県輪島市門前町「見守りマップ」の取り組みは、平時の人間関係、ネットワーク作りを非常時に活かしたものである。「見守りマップ」は当初、災害時対応のものとして検討され作成されてはいるが、平時の見守りに活用したことが、実際の災害発生時に有効に機能したのであり、また平時の人間関係で形成された信頼関係は、「一人暮らしであろうが、高齢者であろうが、暮らし続けたい」という安心感を住民にもたらした点で特筆すべきものがある。岩手県花露辺地区の暮らしから学ばなければならない点は、自然を制圧するものとしては捉えておらず、共存の立場をとっているところである。防潮堤を造らない「花露辺の暮らし」という選択は、漁業という生業とともにこの地で暮らし続けるため、自然との折り合いをつけた結果と言えよう。これは被災後エンジニアリングに依存しがちな防災対策にあって、防災はエンジニアリングだけではないということ、自然の猛威をも受け入れる覚悟で暮らしの全体性を考えているということであろう。これまでも自分たちの暮らしは自分たちで決めてきた、同様にこれからの暮らしも自分たちで決めるという姿勢は、当該地で暮らし続けるための生活文化の基盤ともいえる。また、金沢市におけるコミュニティ防災士による地区防災計画の取り組みについては、ボトムアップ的な防災を推進する上で今後重要となる地域実践であり、災害リスクを突きつけられた住民が無力感、無関心を作動させるのではなく、主体的に、自発的に災害時の脆弱性を克服するための一助となりうるかどうかという点が重要となる。</p> <p>それゆえレジリエンス(強靱化)をまとめるならば、こころが折れてもやり直せる思想、弱くても生きていける思想であり、こうした思想を土台とした社会を構築することが減災社会に他ならない。すなわち減災社会とは、すべての人が同じ価値をもち、一人ひとりが違い・個性をもった唯一絶対(つまり、とってかわれない)の存在であることを前提に、万が一災害を被ったとしても、だれもが暮らし続けることのできる生活を保障する社会的な基盤をつくることに他ならない。超過疎・高齢社会が進展し、コミュニティの弱体化、共助のミニマムの単位である家族それ自体が大きく変容する現代だからこそ、単身であっても、高齢であっても、障害があっても、「この地で住み続けたい」という願いを取りこぼさずことなく保障する減災施策が求められなければならない。</p> <p>なお、海外調査研究は、実施すべく調整を進めていたものの、治安状況の悪化など外部環境要因により当初の予定地で実施することができなかった。調査結果については報告書を取りまとめたほか、朝日新聞石川版「北陸六味」において関連する内容について言及したほか、能登半島地震 10 年にかかるテレビ、ラジオ等のインタビューにおいて、本調査に基づく結果を踏まえたコメント等を行うことができた。今後は 2017 年度に開催される所属学会において研究成果報告を行う予定である。</p>					
キーワード FA	減災文化	レジリエンス	リスクを選択する暮らし		

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA							
研究機関番号 AC					シート番号							

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}	地域コミュニティの減災文化に関する基礎的研究							
	著者名 ^{GA}	田中純一	雑誌名 ^{GC}	報告書					
	ページ ^{GF}	1~29	発行年 ^{GE}	2	0	1	7	巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	~	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	~	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要 ^{EZ}